

定例会では、議案に関係なく市の事務事業について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



養田全康議員

### 農業施策について

**養田** 五條市の農作物の出荷売上の算定は行われているのか。また日本一の柿は

主力農産物だが、どの程度の出荷高があるのか伺う。

**産業環境部長** 農林業センサスで112億円となっており、うち果実は55億3千万円。柿の売り上げは、J Aの集計で令和2年度は約35億円に対し令和3年度は約40億円と5億円の増加になっている。

**養田** 果実以外にも約55億円の生産高があるが、耕作放棄地の対策が重要で、中山間における集落営農の推進が必要だと考える。

**産業環境部長** 人・農地プランの作成支援をしており、5年〜10年先の地域農業をどうやって守っていくのかを話し合った結果をまとめました。市内9か所で作成し、活用していただく。農地集

約については、認定農業者や集落営農組織を中心に進める。

**養田** 耕作放棄地を増加させないため離職農業者と農業者のマッチング対策を講じて欲しい。柿の生産にあつては柿シーズンに人手不足が大きな問題となる。季節労働者の宿泊施設の確保が必要で、市が使用していない建物で対応できないか。

**産業環境部長** 公共施設を宿泊施設として運営する自治体はあるが、民間企業が主体で取り組まれていて、自治体は支援する形となっている。民間が中心的役割を担い、行政も連携し支援できることを検討していく。



### コロナ対策について

**養田** 五條市は県境で#8000番に電話すると和歌山県につながり、他府県とすることで情報を教えてもらえない。県に申し入れしてもらえないか。

**すこやか市民部長** 実施主体が県であるので、情報を県に伝え近隣の情報提供がされるよう要望してまいります。

**養田** コロナに感染した場合に市が支援物資を市民に無料提供している自治体があり、五條市でも支援が欲しいと要望する市民が多い。まず食料や衛生的な物資が必要になる。コロナ関連で国からの補助金があるので対応をお願いしたい。

**産業環境部長** 他市は自宅待機者からの申請で食料品を提供するサービスで、利用される方のニーズに応えられていくか言い難い。本市は利用者のニーズに応えられる買い物代行サービスを継続していく。

**養田** コロナ感染や濃厚接触者になられた市民から、五條市は何もしてくれないと切実なお話を聞く。早期に物資の支援を望む。



### 五條市の職員について

**養田** 五條市の正規職員数は。また、市内在住の割合は。

**市長公室長** 職員数371名で62.5%が市内在住者である。

**養田** 離職者数が他市より多く働きにくい環境だと聞かすが、どう考えるのか伺う。

**市長公室長** 離職者が五條市で4.8%、他市は2.2%から6.6%で、平均より少し上となる。定年まで働ける環境づくりを進める。

**Q: 県内12市で、給食費を軽減している市は**

A: 御所市において、独自の軽減策を実施している。



平岡清司議員

**子育て世代への支援について**

**平岡** 「五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が平成27年に策定されている。また、五條市が考える国土強靱化に関する政策を一体的に推し進めることを目的として令和2年3月に「五條市ビジョン」が策定されている。その中の5つの基本理念の一番目に「子どもを育てたいまちをつくる」とうたわれている。私もこれは一番大事なことだと思っている。

そこで、給食費に関する支援について、新しい3つのこども園の給食費の保護者負担はどうなっているのか伺う。

**教育部長** 認定こども園では、自園調理により、302人に対して給食を提供している。3歳児未満は、保育料に含まれている。3歳児以上は、1号認定の子供が3,600円、2号認定の子供が5,300円。令

和4年度の給食費に係る賄材料費予算は、3,299万1千円である。

**平岡** 小学校、中学校の給食費保護者負担は。

**教育部長** 五條市立小学校、中学校、高等学校（西吉野農業高等学校）の児童生徒1,645人に対して給食を提供している。

小学校	4,000円
中学校	4,400円
高等学校は、	
1年生	4,800円
2・3年生	4,200円
4年生	4,000円

である。

令和4年度の給食費に係る賄材料の予算額は当初8,738万3千円であったが、昨年から続く燃料や材料費の価格上昇に伴い予算が不足し、1,165万3千円の補正予算で9,903万1千円となっている。

**平岡** 高校生の2・3・4年生の給食費が違うのは。  
**教育部長** 現地へ実習に行くためである。

**平岡** 県内12市で給食費を軽減している市は。

**教育部長** 学校給食費の軽減状況は、御所市において自治体独自の軽減策を実施している。

**平岡** 御所市は給食費をいくらか軽減しているのか。  
**教育部長** 月額500円程度軽減している。

**平岡** 五條市は今後、給食費の値上げを考えているのか伺う。

**教育部長** 物価高騰により検討していかねければならない。

**平岡** 若い世代を応援するために、給食費の軽減を考えていただきたい。



**安心安全な通学路に関する支援について**

**平岡** これまで質問してきたスクールバスの運行について、再度伺う。前回（令和4年3月定例会）からその後、変わった点はあるか。  
**教育部長** 変わった点はない。

**平岡** 今後の予定はどのように考えているのか。

**教育部長** まずは、法律や基準を遵守するのが原則である。そのため、一部の地域で例外を認めることはできない。一方で、安全の確保という観点は、非常に重要であることから、学校や道路管理者等の関係機関により構成される「五條市通学路安全推進協議会」にも提起し、意見を頂きながら、安全な通学路の確保に向けた検討を更に進めてまいります。

**平岡** 生徒さんや、ご家族が安心するようなスクールバスの運行実現をよろしく願います。

# 一般質問

## Q: 廃部となった部活動の救済措置について

A: 部活動の機会をできる限り確保する方向で検討を重ねていく。



窪 佳秀議員

### 教育行政について

**窪** 公立中学校の部活動の現状について伺う。

**教育部長** 五條西中学校は

野球部が廃部、剣道部・水泳部は募集を停止。五條東中学校は野球部が休部となっている。

**窪** 義務教育における部活動の意義を伺う。

**教育長** 教員等指導の下、生徒が自発的・自主的にスポーツや文化活動を行うもので、体力や技能の向上、異年齢との交流の中で人間関係の構築、責任感、連帯感を育成し、人格形成を促す大きな意義がある。

**窪** 部活動では、教育課程で得られない生徒間、教師などとのコミュニケーションが図られ、生徒の新たな能力が発見できる。部活動は重要なものである。五條西中学校の野球部が廃部に至った経緯を伺う。

### 教育部長

学校の規模、教員数、指導者の有無などを考慮し、職員会議やPTA

運営協議会で検討し学校長が決定したものである。

**窪** 決定年度以降に生徒の希望や保護者の意向が変わる。廃部になれば他校との

合同チームにも参加できない。家庭環境によっては社会体育での参加もできない。

救済措置はないのか伺う。

**教育部長** 日本中学校体育連盟では、個人競技は部活動が開設されていなくても

試合に出場できる。団体競技においても来年度から同様の対応が可能となる方向で検討している。生徒が部

活動の機会をできる限り確保できる方向で検討を重ねていく。

**窪** 部活動の地域移行について伺う。

**教育長** 国、文部科学省及びスポーツ庁では、教員だ

けに頼る部活動ではなく、地域の人と連携した取り組みで活性化を図っていくというものである。今後、土日の外部指導者による運営を進めながら地域による社会教育の取組として進めていく。

**窪** 地域移行にも課題は多くある。社会体育となるため保護者の協力、困窮世帯等家庭の事情で参加できない生徒もいる。学校の部活動に力を入れていただくようお願いする。



### 防災行政について

**窪** 休館・廃止となっている公共施設の避難所の現状について伺う。

**危機管理監** 市内5か所の公共施設を指定避難所として指定している。

**窪** 施設の管理状態から避難できる状態であるのか伺う。

**危機管理監** 管理を定期的に行っている。修繕が必要な箇所については随時修繕を行っている。

**窪** 従来からの指定避難所に市民が自主避難等したことがある。現在見直され、指定避難所になっていない施設もある。啓発を行っているのか伺う。

**危機管理監** 指定の取消しについては、広報紙、ホームページで公表している。

**窪** 災害種別により指定避難場所として不適當な避難所がある。平素から検討しているのか伺う。

**危機管理監** 指定避難場所ごとに災害のリスクを把握し、河川水位、土砂災害警戒情報等を考慮のうえ、安全に避難できるよう運用する。

## Q: 五條東小学校の建物安全性について

A: 耐震性能が基準値を上回る結果が確認された。



吉田 雅範議員

**エコ・リレーセンター  
ごじょうの今後につい  
て**

**吉田** 指定管理者制度等の

導入の考えについて、指定  
管理、若しくは包括管理に  
するのかが。管理する中で、  
入札もあり複雑多様な部分  
があり、今日までに検討さ  
れた内容について伺う。

**産業環境部長** 指定管理者

制度、包括外部委託、直営  
の3つの選択肢がある。五  
條市クリーン・オアシスの  
運営管理と、旧みどり園跡  
地の浸出水処理施設の運営  
管理とを合わせた一体的な  
ものを検討している。

**吉田** 事務所横のひさしに

ついて、大きさが不十分な  
ため、雨天時には利用者が  
不便を強いられているが、  
その対策について伺う。

**産業環境部長** ご意見を踏

まえ、雨に濡れない対策を  
検討していく。

**五條東小学校の現状と  
今後について**

**吉田** 建築確認検査書類等

不明問題について、校舎の  
一部建物が設計書どおりに  
施工されていたのか伺う。

**教育部長** 残っていた設計

図書と現状の建物との整合  
を調査した結果、帯筋の間  
隔と鉄筋の種類に不整合が  
判明した。

**吉田** 児童の安全確保につ

いて、構造計算上安全が担  
保されたのか伺う。

**教育部長** 耐震性能が基準

値を上回る結果が確認され  
た。

**公用車の集中管理につ  
いて**

**吉田** 管理システムについ

て、集中管理している台数  
及びその他の台数について

**県域水道一体化事業に  
ついて**

**吉田** 本市の投資規模につい  
て伺う。

**水道局長** 老朽管更新事業等

の投資計画は、年平均で約1  
億8千7百万円である。

**吉田** 財政シミュレーション

精査について伺う。

**水道局長** 本市単独経営では

443円〜491円まで値上  
がりし、一体化では240円  
〜241円と水道料金と費用  
ともに抑えられる試算である。

**吉田** 簡易水道未普及地域へ

の対応はどうなるのか伺う。

**水道局長** どこまで企業団で

するのかなどの具体的な方針  
は決まっていない。

**吉田** 仮に企業団で管理しな

い方向づけになっても、五條  
市の水道局として見捨てるこ  
とのない対応をお願いします。



伺う。

**総務部長** 集中管理の公用

車は10台、その他は138  
台である。

**吉田** 車検切れのまま使用

した2台の公用車について  
伺う。

**総務部長** 集中管理の公用

車1台と支所管理の1台で  
ある。

**吉田** 今後、集中管理の公

用車の台数を増やせないの  
か伺う。

**総務部長** 公用車の原則集

中管理を次年度から開始で  
きるよう準備を進めていく。

## Q: 北宇智小学校の跡地利用について

A: 有効な活用方法を探っていく。



吉田 正議員

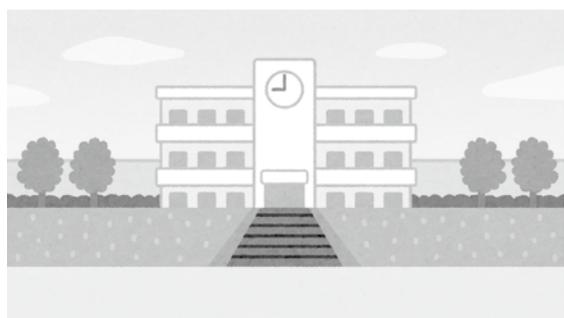
### 学校適正化、認定こども園整備完了後の施設について

**吉田** 学校適正化、認定こども園整備完了後のこれらの施設で、現状利用していない施設は何か所あるか伺う。

**教育部長** 北宇智小学校を含め、学校適正化及び認定こども園の整備が終わった段階で利用していない施設は、小学校3か所、幼稚園1か所、保育所5か所の合計9か所となる見込みである。

**吉田** それらの中で利用しない、利用計画の決まっていない施設は何か所あるか伺う。

**教育部長** 利用しない、利用計画のない施設についても先ほどの答弁どおり9か所となる見込みである。



**吉田** その中で、経費のかかっている施設は何か所か。また、年間の維持経費はいくらか伺う。

**教育部長** 北宇智小学校を除き小学校2か所で約255万円、幼稚園1か所で約60万円、保育所5か所で約120万円である。

**吉田** 草に覆われた施設も見受けられる。解体も含めたしつかりとした整備を要望する。

### 北宇智小学校跡地利用について

**吉田** 紆余曲折はあったが、北宇智小学校は五條東小学校と予定どおり来年度に統合するのか伺う。

**教育部長** そのとおりである。



**吉田** 北宇智小学校の施設は、閉校後未使用となり、利用計画も決まっていないのか伺う。

**教育部長** そのとおりである。

**吉田** 跡地利用が行なわれるまでの間、施設管理、周

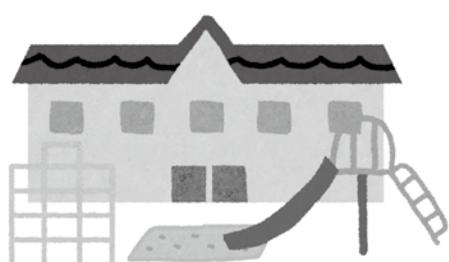
辺整備も行政の手で行ってくれるのか伺う。

**教育部長** 市で維持管理を行う。

**吉田** 北宇智小学校の跡地利用について市長に尋ねる。

**市長** 市部局、教育委員会とも協議を継続し、地域の皆様の意見も聞き、民間との連携など様々で有効な活用方法を探っていく。

**吉田** 地域にとっても、五條市にとっても利用価値のある施設としての存続をお願いする。



## Q: 使用しなくなった学校校舎や公共施設の今後の活用について

A: サウンディング型市場調査を実施し、民間への売却や貸付を積極的に行い、財政の健全化につなげていく。

齋藤有紀議員



### 女性目線を生かした

#### 防災対策について

**齋藤** 災害が発生するたびに、避難所の運営や防災備蓄に女性の声がなかなか届かないことへの指摘が問題視されている。私自身、阪神淡路大震災、東日本大震災の被災者であり実際に避難所生活を経験した際にも、配慮はまだ不十分であった。国は、女性の視点を取り入れるために平成17年に防災基本計画に男女共同参画の視点を盛り込み、第二次男女共同参画基本計画において新たな取組を必要とする分野の一つとして防災を位置付けているが、五條市としての考えを伺う。

#### 危機管理監

女性目線を生かした避難所運営が重要と考える。

五條市地域防災計画や国

が作成した男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインだけでなく、自主防災組織で活躍する女性の意見なども参考に運営に努めたい。

#### 齋藤

状況が改善されない背景には、防災対策や災害復興に関わる担当者、特に意思決定者に女性が少ないことが考えられるのではないかと。五條市の防災会議の委員においても男女比率が平等であることと、避難所のリーダーに女性を起用することを要望する。

今後、防災だけの課題ではなく市全体の政策として、様々な行政の分野で女性の意見が反映される組織が作られることを願い提案させていただく。

### 五條市における公共

#### 施設の活用について

**齋藤** 学校の統合や校舎の劣化などによって使用されなくなった廃校が全国的にも増えており、廃校を取り壊すのではなく別の形で活用しようという廃校活用が取組が各地で行われている。五條市で、使用しなくなった学校校舎や公共施設の今後の活用について伺う。

#### 総務部長

未利用の土地、建物のうち市として将来的に活用の予定がないものに関しては、取得の経緯等により処分できないものを除いては民間への売却や貸付を積極的に行い、財政の健全化につなげていく。

#### 齋藤

どのような方法で未

つていくのか。

**総務部長** 昨年度よりサウンディング型市場調査を実施し、民間への売却、貸与の可能性の高いものから原則一般公募での売却を進めていく。

#### 齋藤

サウンディング型市場調査をすることによって参入しやすい条件や運営方針や購入したい方の考え方を事前に確認できることは利点であると考えます。しかし、校舎や公共施設は、地域の方々が守ってくださった大切な資源でもあり、多くの方の思い出が詰まった場所である。市民にとって喜ばれる活用、地方創生につなげることを期待する。

意見



# 一般質問

## Q：県域水道一体化計画について

A：本市としては、早期実現にメリットがあると判断している。



大谷龍雄議員

### 県域水道一体化計画の疑問点と慎重な対応について

**大谷** 県域水道一体化計画への参加に慎重な姿勢をとっている奈良市の協議の場として、県域水道企業団設立準備協議会内に5月末頃に部会が設けられ、この間何回か協議をされている。この中で奈良市から出されている要望として、

- ・企業団に対する県の垂直補完（財政補助）か、奈良市が異なる水道料金を設定できるセグメント会計方式を認めること
- ・全ての市町村が一体化のメリットを受けること
- ・上下水道一体運営を継続すること
- ・下水道事業に対する県負担の拡充

があるが、8月末時点では

奈良県は答えていない。さらに、天理市、桜井市、生駒市、葛城市は井戸やため池の水を水源としているが、これらをなくして大滝ダム等のダムだけを水源とする計画にしようとしている。地震や豪雨等の大災害で水道本管が事故で水を供給できなくなれば、昨年の和歌山市のように約6万世帯が約1週間にわたって給水できなくなつたようなことが起こるのではないか。さらに、奈良市は単独で水道事業を続けるほうが水道料金



が安くなると試算している。以上の疑問点から考えるなら、奈良県に対し県域水道一体化計画の再検討とスケジュールの延期を要望すべきではないか。

**水道局長** 本市といたしましては、現時点で一体化を早期に実現していくことにメリットがあると判断しており、計画の見直しやスケジュールの延期を要望していく考えはない。

**その他の一般質問**  
新庁舎建設に関する国・県・市の負担割合と負担金について

- ①建設費における国・県・市の負担割合と負担金について
- ②維持費における国・県・市の負担割合と負担金について

## 市議会だよりGOJOの表紙を飾っていただく 写真を募集します

五條市内の風景や行事等、応募者のオリジナルの作品で、  
作品名、撮影場所、お名前、ご連絡先をご記入の上応募願います。

### 【応募方法】

- ☆郵送・持参の場合は画像データでお願いします。
- ☆電子メールの場合は gojoshi-gikai@kcn.jp へ送信願います。
- ※ご応募いただいた写真は返却いたしません。また、謝礼もございません。
- ※掲載写真の著作権は作者にあり、使用权は五條市に帰属するものといたします。

## Q: 運転免許証自主返納者サポートについて

A: 五條市で運用している事業の継続。幅広い視点から高齢者の移動手段の確保を検討していく。



福塚 実議員

### 運転免許証自主返納者サポートについて

**福塚** 運転免許証自主返納者サポートについて、6月の一般質問で提案させていただいたが、その後のように検討しているのか伺う。

**あんしん福祉部長** 今後も企画政策課と連携して五條市で運用している事業を継続していく。

### 公園整備について

**福塚** 田園地区における雑木整備が必要な箇所現状

を伺う。

**都市整備部長** 公園11か所、

緑地20か所、緑道47か所である。

**福塚** 田園4丁目の調整池の周りの高木について、市の考えを伺う。

**都市整備部長** 現在要望のある箇所については、剪定の準備をしている。

### 教育環境について

**福塚** 現在の児童生徒数は、

**教育部長** 9月1日現在で、

在園児	
公立	303人
私立	243人
合計	546人
児童生徒	
小学校	1,031人
中学校	567人
高等学校	68人
合計	1,666人

である。

**福塚** 出生数の推移は、

### 教育部長

2017年	140人
2018年	127人
2019年	112人
2020年	86人
2021年	103人

である。

**福塚** 児童生徒数が減少するなかで進めてきた、認定こども園整備、学校適正化による施設整備の工事費について伺う。

**教育部長** 認定こども園整備費は合計18億8,322万5,300円、学校適正化施設整備費は合計6億5,577万500円である。

**福塚** 出生数の減少傾向が当初予想されていたよりも急速に進み、学校適正化や認定こども園の配置などを新たに見直すことを考える

ければならない状況だと考えるが、見直しの必要性について、教育長に伺う。

**教育長** 学校適正化基本計画において地理的条件や児童数のバランスを見て配置してきたところである。児童生徒数や地域的な状況を勘案しながら、必要とあらば更なる検討をしなければならないと考える。

**福塚** 認定こども園、学校適正化施設整備工事費合計約25億3,800万円をかけて推進し、また数年後適正化を検討しなくてはならない状況である。この現状を踏まえて、五條市の子育て世帯の方々が安心して定住できるように、先を見越した施策をお願いする。



## Q: 五條市のTNR活動について

A: 市民やボランティア団体と協働し、活動に取り組んでいる。



谷 勝啓議員

### 五條市のTNR活動について

谷 奈良県では、年間約1,000頭もの飼い主がいないう猫が捕獲され、そのうち約8割から9割の猫が安楽死処分、つまり800から900もの死ななくていい命が人間の手によって奪われている。何故にこの猫たちの命が奪われなくてはならないのか考えたときに、人としていたたまれない思いが込み上げてくる。このような現状に対してどのようにお考えか伺う。

谷 命を奪わなくても済む方法として、さくら猫無料不妊手術チケットの配布や、ふるさと納税型クラウドファンディングの実施、ふるさと納税寄附金の使途への追加などがある。TNR活動の目的を十分理解し、様々な取組を行うことで、一人でも多くの市民の皆様のご理解とご協力を賜わらねばならない。その活動に対する補助金や助成金などの財源の確保にもっと積極的に取り組む必要があるのではないか。

このTNR活動の取組を通して、様々な意味での好影響が市民にも与えられると考える。市としても、たかが野良猫と捉えるのではなく、「命の尊さ」「市民生活の衛生管理」「心豊かな微笑みあるまちづくり」とい

う考えのもと、これまで以上に意識を高くして取り組まれることを強く進言する。



### 奈良県大規模広域防災拠点整備基本計画について

谷 この事業はこれまで県知事及び市長が中心となり、並々ならぬ国への働きかけが実を結び成しえたものであり、県民・市民のために、将来を見据えた重要な事業であることから、是非とも協力的な立場で取り組んでまいりたい。しかしながら、市民の方から「いよいよ自衛隊が五條市に来るのが決まった」というような大きな誤解を耳にしたので、改

めて事業内容を伺う。

### 危機管理監 陸上自衛隊駐屯地誘致については、令和

2年11月の県議会において「陸上自衛隊駐屯地の誘致活動を差し控え、大規模広域防災拠点の早期整備に全力を尽くす」という趣旨の答弁があり、市ではそれに協力し誘致活動を継続している。現在、防衛省が奄美大島、宮古島、石垣島などの南西地域への駐屯地の配置を進めており、五條市への駐屯地の配置には時間を要する状況であるが、引き続き取り組んでまいります。

### その他の一般質問

- 高齢化対策について
- ① 運転免許証の自主返納後について
  - ② シニアカーの安全対策について
  - ③ 買い物支援について
  - ④ 介護支援について